

ライオンズクラブ330複合地区
青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会 第2回会議議事録

- 会議名 第2回青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会
日時 平成28年9月27日 午後3時～5時
議長 飯田委員長 記録者 田中副委員長
出席者 A地区 鶴ヶ谷副委員長・峰村委員・小林委員・
B地区 手塚委員・樋口委員
C地区 柳澤副委員長・五島委員
- 議題 330MD各地区の現況報告および同委員会としての方向性の検討
内容 事前に各地区より提出された報告内容をもとに発表し、それに対する意見交換を行う。
内容に関しては会議資料を参照。
- A地区 ツリークライミング体験会」を5年連続で行っている。
現在では複数のライオンズクラブが実施している。
いじめ対策青少年委員会では、「いじめ防止教室」のプログラムを作成し、
学校訪問を予定。いじめ防止ホットラインカードを作成。配布予定。
- B地区 現在薬乱防止の活動が主になっていて、クエストの活動は停止中。
- C地区 クエスト活動を実施しており、その現況報告
およびクエスト活動費とLCIF交付金との関係を説明。
- 意見交換 飯田委員長より クエスト活動は、全国で実施しており、実施していないのは
A・B地区と一部のみである。活動を再開できないものか
峰村Lより A地区ではクエスト委員会はなくなってしまった。
飯田委員長より A地区はJ I Y Dのお金の使われ方が疑問で、クエストをや
らなくなった。
樋口Lより B地区では相模原LCが行っていたが、問題のあった学校
も立ち直って、学校からもクエストの授業を昨年度で終了
した。とのことでクエスト活動をしていない。
柳澤Lより A地区のいじめ防止教室は素晴らしい取り組みで、クエスト
においても参考になるものが多そうなので、是非参考にさ
せていただきたい。お金に関して、J I Y Dの運営は明確
な資料を提出してもらっているので問題はない。
クエスト ライフスキルプログラムは、J I Y Dが教えて
いてライオンズが直接教えられない。との意見があるが、
プログラムを教えるには認定講師の資格が必要です。また、
実際教えることは大変なことである。
ライオンズで出来ることは、学校・教育関係者へのアプローチ
と実践校へのアフターフォローで継続してもらうことです。
- 決定事項 飯田委員長より A・B地区のガバナーへ、クエストを推進していただく
よう進言する。
次回の委員会に置いてクエストを中心に会議を進めていく。
- 今後予定 次回はクエストの講師を招いての説明会にする。
C地区委員がJ I Y Dとの日程を調整する。11月28・29・30日
のいずれか。